

光徳寺「善隣館中津学園だより」 一早春号一

発行人 光徳寺善隣館中津学園
理事長 佐伯祐善
中津学園園長 渡辺祐子
建替準備室長 河崎洋充



在りし日の正門と旧園舎



建物部分の解体完了

お礼とご報告

初めに、このたびの能登半島地震で、被災された方々にお見舞い申し上げますと共に、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたします。合掌

さて、今回皆様に工事の進捗状況と仮園舎で暮らす子ども達の様子をご報告致したく「善隣館中津学園だより」を発行することになりました。

3月15日現在で、寄付目標額3,000万円に対し、総勢276名（個人・団体）もの方々から、1,156万円のご寄付を賜りました。お心の籠ったご芳志金を多くの皆様から頂き、誠にありがとうございます。

現在、旧園舎の解体工事が進み、4月からの本工事に向けて準備を進めているところですが、先年のコロナ禍や相次ぐ戦争の影響で、建築資材が高騰し建設事業者の人材確保も困難な状況が続いております。

法人の自己資金では、まだまだ不十分な状況であり、引き続き募金活動を続けて参りますので、皆様方のお知り合いへの支援の輪を広げて頂きたく、お声掛けをお願いする次第です。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

園長 渡辺 祐子

現在までの状況

2023（令和5）年

7月8日 園舎お別れ一思い出フェスティバル

支援学校の先生方や卒園生の保護者、旧職員、大阪大学ボランティアサークル「フロンティア」等、70名近く参加して頂きました。園舎建替への募金をこの日から開始しました。

8月30日 読売新聞大阪本社版に、改築工事の記事が掲載されました。

9月13日 仮園舎が完成し、鍵の引き渡しがありました。

9月30日・10月1日 子どもたちが、仮園舎へ引越しをしました。

10月1日 仮園舎から、豊中支援学校へ登校開始。※（通学バスは、学園が手配しています）

11月10日 祐三の生誕碑見学を中止する公示を正門に掲げました。

12日 生誕碑の撤去工事が始まる。現在、ブルーシートに包んで、本堂前に安置しています。

17日 旧園舎のお別れ法要と工事の安全を祈りました。

12月18日 解体工事が、開始されました。

12月19日 大阪市教育委員会によって、「祐三生誕地」表示板が、正門横に掲示されました。

2024年(令和6)年

1月18日 仏教タイムスに、改築工事の記事が掲載されました。

2月 末現在、旧園舎の建物部分が、ほぼ解体された状態ですが、基礎部分の解体は、これからです。

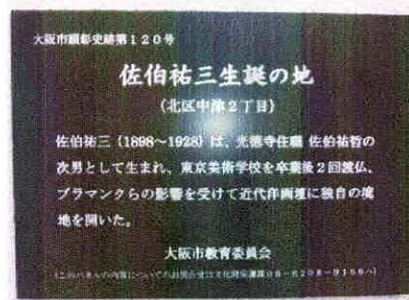
佐伯祐三生誕碑



佐伯祐三の生誕碑



撤去工事開始



祐三生誕地の碑に代わって、表示板設置

仮園舎の生活

引っ越し先の仮園舎は、大正区泉尾、JRメトロ「大正駅」から徒歩15分のところにあります。ここから、子どもたちは毎日バスに乗り、元気に豊中支援学校へ通学しています。

仮園舎は2棟あり、2階建ての一軒家に5部屋と隣接する『グループホーム泉尾』の2階部分の5部屋と併せて10部屋に、小学生低学年から中高校生までの男女20名が、仲良く（ときには、ケンカをしながら）生活しています。



泉尾の仮園舎 前景とUSJ 寄贈のハイエース



通学バスで、豊中支援学校への送迎の様子